

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600158
事業所名	グループホーム あいか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） まずは挨拶を交わすことを基本に、出会う人には必ず声をかけている。自治会に加入し、地域の活動に参加したり、ふれあい喫茶、盆踊り、花火大会などに参加している。事業所の夏祭りには近隣の人たちに声をかけ、多くの子供たちなどで賑わった。ふれあい喫茶を通じてボランティアに来てくれる人もいる。近くの幼稚園との交流や、中学校の職場体験も受け入れている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議には、いきいき支援センター職員や自治会長、利用者家族の参加があり、年に6回開催されている。事業所の行事や取り組みの報告をし、質問を受けたり要望を聞いたりして、支援に活かされることは取り入れている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） いきいき支援センターを通して、管理者が認知症講習会の講師を務めたり、地域の人たちからの相談を支援センターに仲介したりしている。市の主催する外部研修には職員が参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会はないが、事業所行事を通し、家族同士の交流もある。利用者の様子を週単位、月単位で記した便りを家族へ送付している。面会時や、計画作成前に家族と話し合い、要望や意見を聞いている。さらに年に一度、家族へアンケートを送付し、意見を伝えてもらっている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○				